

一人じゃないことを知った。
自分だからできることがあることを知った。



BEYOND
Tomorrow

ビヨンドトゥモロー

ジャパン未来スカラシップ・プログラム 【2023年度参加者募集中】

返済不要・給付型奨学金

内容

年間50万円の奨学金（返済不要・給付型奨学金）
年間を通じて国内外で開催される人材育成プログラムへの参加（一部オンライン開催含む）

対象者

2023年度に大学・短大・各種専修学校に進学予定（現高校3年生、浪人生）
で、下記の条件の一つ以上に該当する者。※詳細は応募要項をご覧ください。

- ①保護者が死亡。
- ②単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
- ③児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。
- ④里親家庭に暮らしている。
- ⑤生活保護受給世帯に暮らしている。

応募方法

2022年11月2日（水）当日消印有効
（応募用紙は<https://beyond-tomorrow.org> からダウンロードできます）

選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 面接 12月25日（日）
※遠方からの受験者には財団規程に基づき交通費を支給

ビヨントゥモローは、親との死別・離別を経験したり、児童養護施設に暮らしていたり、社会的に困難な状況にありながらも、人のため、社会のために働く志を持つ若者を応援します。



父の母親に対する暴力に苦しみ、経済的にも楽ではない生活の中で、自分が他の人よりどこか劣っているような感覚がありました。しかし、劣っているという考えは間違いで、むしろ逆境を経験したことこそが、他の人にはないアイデンティティなのだ、と、ビヨントゥモローでの活動を通して気づきました。その気づきは、自分の大きな原動力になっています。将来は小学校の教員となり、学ぶことの面白さを伝えていくとともに、自らの経験を活かし、児童の支えになりたいと思います。 Oさん 東京学芸大学教育学部 (東京都立文京高等学校)



私は里親家庭で幼少期から育っており、孤独を感じていました。しかし、ビヨントゥモローでは似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、皆も未来を向いているのだから自分も頑張らなきゃいけないと感じ、前を見ることが出来ました。対面プログラムでは、自分のアイデアが提言に活かされ、この境遇だからこそわかる気持ち、立てる視点があることに気づきました。将来は舞台俳優になり、自らの経験を活かせる舞台をすることで社会的養護出身者や似た境遇の者たちが特別視されない社会に少しでも近づける事が出来るようにしたいと思っています。 Yさん 玉川大学芸術学部 (東京都立片倉高等学校)

【奨学金事業】

高校卒業後、進学を志す者を対象に選考試験を実施し、奨学金を支給してきました。学力のみに依らない、多様な視点から人物を評価する選考を実施しており、進学先は様々で、進学先の学問領域も多岐に渡ります。

【人材育成事業】

困難な体験をもつ学生がその経験を糧に、他者の心の痛みに寄り添い、人のため社会のために尽力できる人材になる過程を応援すべく、年間を通して人材育成プログラムを国内外で開催してきました。(一部オンライン開催を含む)
<これまでの人材育成プログラムの例>

夏季グローバル研修 (米国、アジア等) / ジャパン未来リーダーズサミット (東京) / スピーカーセッション (オンライン開催)



逆境にある若者を応援するのは、困難を経験したからこそ、他者の心の痛み共感し、社会のために行動する資質を有していると信じるから

【応募要項】

(返済不要・給付型奨学金のご案内)

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023

一般財団法人教育支援グローバル基金は、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023」への応募を募ります。様々な事情で社会的に困難な状況にある若者を対象とし、財政的な支援だけでなく、人材育成プログラムへの参加機会の提供を通じて、他者に共感する力を育み、社会に力を添える人材を輩出することを目的としています。仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流を通じ、視野を大きく広げ、社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひ奮ってご応募ください。

【主催】 一般財団法人教育支援グローバル基金

【プログラムの内容】

1. 奨学金支給：大学・短大・各種専修学校進学のための、年間 50 万円の返済不要・給付型奨学金を支給
2. 人材育成プログラム：国内外でのプログラムを通し、各界で活躍するリーダーとの対話や、困難を経験しながらも社会に力をそえることを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行う。

これまでの人材育成プログラムの例

- ・ オンラインプログラム（ビデオ通話を介し年に 3~4 回程度開催）
- ・ 国内研修（東京に限らず、様々な地域を訪れます）
 - オリエンテーション・プログラム（毎年 3 月開催 3 泊 4 日）
 - サマー・プログラム 2021（昨年夏開催 2 泊 3 日）
 - イヤーエンドギャザリング 2020（昨年冬開催 2 泊 3 日）
- ・ 海外研修
 - 夏季グローバル研修（毎年 7 月~8 月開催 約 2 週間・米国、タイ、シンガポールなど。2020・2021 年はコロナ禍により中止）
 - ※ 各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトや Facebook、Instagram 等でご覧いただけます。
 - ※ プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。
 - ※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、上記のプログラムが例年通り開催できない可能性があります。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラムは、奨学金支給と人材育成プログラムの両方から成る、1 年間の包括的なプログラムです。

【応募資格】

下記条件を全て満たすこと。

- 1 2023 年 3 月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。
- 2 2023 年 4 月~2024 年 3 月に新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。
 - ※ 学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります
 - ※ 進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。
 - ※ 5 年制の高専在籍者は、2023 年 4 月に 4 年生に進級する場合を対象とします。
- 3 下記の一つ以上に該当すること。
 - ① 親が死亡。
 - ② 単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
 - ③ 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。
 - ④ 里親家庭に暮らしている。
 - ⑤ 生活保護受給世帯に暮らしている。
- 4 年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。
- 5 2023 年 3 月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。
- 6 オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。

【諸注意】

最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただきます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【応募要項】

最終合格者が提出を求められる書類（応募時点では提出の必要はありません）

1. 保護者が死亡。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
2. 単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
3. 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。	施設長の発行する在籍証明書
4. 里親家庭に暮らしている。	里親委託証明書（児童委託証明書）
5. 生活保護受給世帯に暮らしている。	生活保護受給証明書

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2022年11月2日（水）	応募締切（当日消印有効）
2022年12月9日（金）	一次選考合格者への面接案内送付（合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。不合格者には通知をいたしません。）
2022年12月25日（日）	二次選考 会場：東京 ※ 遠方からの受験者には面接会場までの交通費補助を規程に基づき支給します。 ※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催をオンライン開催に切り替える可能性があります。
2023年1月 後半	最終合格者発表（二次選考受験者全員に可否を通知します。）

※ 合格者は、2023年3月に開催されるオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。いかなる理由があっても、オリエンテーション・プログラムに参加できない方は、応募できません。

※ プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

【選考方法】

一次選考：書類審査

二次選考：面接（遠方からの受験者には交通費補助を規程に基づき支給します。詳細は1次選考合格者に通知）

【二次選考会場】

東京 12月25日 （日）	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は1次選考合格者に通知します。 ・新型コロナウイルスの感染を防ぐため、三密を避け、換気、消毒など感染予防対策を徹底して開催致します。 ・マスク着用でない方は、受験できません。 ・体温が37.5度以上ある方は、受験できません。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催をオンライン開催に切り替える可能性があります。
---------------------	---

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却しません。一次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。

- 1 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- 2 課題作文（応募用紙の指定の通りに課題作文を作成し同封すること）
- 3 学校長からの推薦状（学校長により厳封のこと。現在、高校に在籍していない者については、卒業校からの卒業証明書または、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を代わりに提出のこと）

【締切】2022年11月2日（水）当日消印有効

【送付先】応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）

- ※ 郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。
- ※ 応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。
- ※ 遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
「ジャパン未来スカラシップ・プログラム2023係」 行

※局留め郵便のため、宅急便での送付はできません※

【応募要項】



ビヨンドトゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“ビヨンドトゥモローに参加して自分を変えることができた”

Mさん 広島大学教育学部（愛媛大学附属高等学校卒業）

ビヨンドトゥモローに参加するまでは、自分の家庭環境や置かれている状況に文句を言い、何も行動できていませんでした。しかし、ビヨンドトゥモローに参加して、志高い同志たちと熱い議論を重ね、各界の著名人とセッションし、国内外でいろいろな経験ができたことは、自分を突き動かす原動力となりました。

そして、「人生を楽しむ」という考え方ができるようになったのは、ビヨンドトゥモローに参加した何よりの成果だと思っています。

今後も、自分の夢に向かって行動していき、周りの人を笑顔にできるように頑張っていきます。



“将来は舞台俳優として社会課題に関する舞台をやりたい”

Yさん 玉川大学芸術学部（東京都立片倉高等学校卒業）

私は里親家庭で幼少期から育てられており、似た境遇の同世代の方と関わる事がなく、境遇の事で悩み苦しんでいるのは自分だけだと思い、孤独感を感じていました。しかし、ビヨンドトゥモローでは似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、皆も未来を向いて頑張っているのだから自分も未来を見て頑張らなきゃいけないと感じ、前を見ることが出来ました。対面プログラムでは、自分のアイデアが提言に活かされ、この境遇だからこそのわかる気持ち、立てる視点があることに気づきました。将来は舞台俳優になり、自らの経験を活かせる舞台をすることが夢です。そしてそれによって、私たちの様な社会的養護出身者や似た境遇の者たちが特別視されない社会に少しでも近づける事が出来るようにしたいと思っています。



“「自分を好きになれたこと」、それが僕にとって最大の収穫”

Oさん 東京学芸大学教育学部（東京都立文京高等学校卒業）

義父の母親に対する暴力に苦しみ、経済的にも楽ではない生活の中で、自分が他の人よりどこか劣っているような感覚がありました。自分が悪い環境にいるのだと思い込み、そんな自分を劣った人間だと思い込んでいたのです。しかし、劣っているという考えは間違いで、むしろ逆境を経験したことこそが、他の人にはないアイデンティティなのだ、ビヨンドトゥモローでの活動を通して気づきました。その気づきは、自分の大きな原動力になっています。この場所は、仲間や新たな視点のみならず、自信も与えてくれました。あくまで副産物なのかもしれませんが、「自分を好きになれたこと」、それが僕にとって最大の収穫です。将来は小学校の教員となり、学ぶことの面白さを伝えていくとともに、自らの経験を活かし、児童の支えになりたいと思います。



ビヨンドトゥモローは大切に大好きな“居場所”

Yさん（国立大学法学部卒業）

帰る家がない私にとって、ビヨンドトゥモローは大切に大好きな“居場所”です。

過去のプログラムや仲間たちとの交流を通して、目を背けていた自らの過去を見つめ、自分自身ととことん向き合うことができました。自分に対してこんなに徹底的に真面目になることができるんだな、と初めて知りました。

ビヨンドと出会っていなければきっと今の私はいませんし、ビヨンドに参加している時の自分が1番自分らしいと感じます。楽しくて、少し苦しくて、でもその分成長できる、そんな場所です。

一生の財産であるビヨンドでの経験と出会いが、今、夢を追いかけている私の原動力になっています。

【応募要項】

よくあるご質問 (FAQ)

Q 奨学金の支給は1年間のみなのですか。

A 本プログラムは、1年間のプログラムです。2年目以降は奨学金の支給はありませんが、別途様々なプログラム参加の機会やキャリアサポートを受ける制度へ応募することができるようになっております(2022年度時点。今後変更の可能性あり)

Q 他の奨学金を受給予定ですが、併用に際しての条件や制約はありますか。

A 他の奨学金との併用について、当財団は条件や制約を設けていませんので、併用が可能です。

Q 応募書類を送付する際は、学校でとりまとめる必要がありますか。

A 応募者本人が個別に送っても、学校でとりまとめてもいずれでも構いません。学校の教職員の方の手違いによる書類不備や締切後の送付が過去に発生していますのでご注意ください。

Q 新型コロナウイルスについての対応はどうなっていますか？

A 人材育成プログラムなどの一連の活動については、感染拡大状況を鑑み、開催の可否を決定しますが、開催が決定した場合には、感染予防対策を行ったうえで開催します。開催される場合は、奨学生は出席が求められます。

Q 保護者の署名は応募用紙に絶対に必要ですか。

A 応募時点で応募者が未成年である場合、親権者、家庭裁判所に指定された未成年後見人、児童福祉法により一部権限を付与された者(都道府県知事より委託を受けた児童養護施設長や里親など)、のいずれかの署名が必要です。

Q 現在、高校に在籍していないのですが、応募できますか。

A 応募できます。既卒者の場合、学校長からの推薦状の代わりに、卒業高等学校からの卒業証明書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、学校長からの推薦状の代わりに、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を提出してください。

一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨントゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン(地球市民)の輩出をめざす「ビヨントゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎 (代表理事) 小林 正忠 木山 啓子 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー 特定非営利活動法人ジェン (JEN) 理事・事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
----	--	--

評議員	塩崎 恭久 宮城 治男 山崎 直子	前衆議院議員 NPO 法人 ETIC 代表理事 宇宙飛行士
-----	-------------------------	-------------------------------------

監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事
----	-------	-----------

アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵 櫻井 本篤	同志社大学特別客員教授・慶應義塾大学名誉教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授 前ジャパンソサエティーNY 理事長
--------	-------------------------	--

【問い合わせ先】 一般財団法人教育支援グローバル基金

電話：03-5453-8030 電子メール：info@beyond-tomorrow.org ファックス：03-6745-9100

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F ※応募書類の送付先は左記ではありません。

本用紙は、複製して使用いただくことができます。
裏面に、応募課題作文の設問があります。



ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023 応募用紙

名前	(氏)	(名)
ふりがな		
連絡先	自宅/携帯	メールアドレス:
性別・学年	男 ・ 女 (○をつける)	学年
生年月日	西暦 年 月 日	
自宅住所 (郵便物を確実に受け取ることのできる住所を記入のこと)	〒	
自宅最寄駅	線 駅 (例) JR横須賀線 戸塚駅	
応募資格	<p>下記の中で、該当するもの全てに○をつけてください (例: 保護者が死亡したために現在単親家庭である場合は、1と2と両方に○をつけてください)</p> <p>1. 親が死亡している。 いつどのような事情であなたが亡くなったのかできるだけ詳しく記述してください。 []</p> <p>2. 現在、単親家庭である。 該当するものに○をつけてください。 父子家庭 ・ 母子家庭 ・ その他 (具体的に説明してください)</p> <p>3. 現在、児童養護施設などの児童福祉施設/社会的養護の施設に暮らしている。 いつから施設に暮らしているか記入してください。 <u> (西暦) 年 月から </u> <u> 施設名 </u> <u> 施設種類 (○をつけてください) 児童養護施設 ・ それ以外 (具体的に) </u></p> <p>4. 現在、里親家庭に暮らしている。 <u> (西暦) 年 月から </u></p> <p>5. 現在、生活保護受給世帯である。 いつから生活保護を受給しているか記入してください。 <u> (西暦) 年 月から </u></p> <p>※最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただけます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。</p>	
ビヨンドトゥモローへの参加の有無	これまでビヨンドトゥモローの活動に参加したことがありますか (○をつけてください)。 ある ・ ない	

高等学校名	(あてはまるものに○をつけてください) 全日制 ・ 定時制 ・ 通信制
在籍状況	あてはまるものに○をつけてください。 1. 高校をこれから卒業予定 西暦 年 月卒業予定 2. 高校を既に卒業した 西暦 年 月卒業 3. 高校を既に中途退学した 西暦 年 月退学 4. それ以外 (具体的に)
進路の予定	高校卒業後の希望進学先を第3志望まで書き、合格の状況に○をつけてください。 第1志望 (学校名) (学部名) 既に合格・未合格 第2志望 (学校名) (学部名) 既に合格・未合格 第3志望 (学校名) (学部名) 既に合格・未合格

私は応募用紙・課題作文に全ての必要事項を偽りなく正しく記入したことを誓約し、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースHIP・プログラム 2023 に応募します。

本人の署名 : _____

保護者氏名 (自署) : _____ 本人との関係 : _____

応募課題作文設問

下記の通り、課題作文を同封し、提出のこと。下記の点を満たしていれば、形式は問わない。

- A4 用紙 2 ページ以内であること (ワード、手書きいずれも可)
- A4 用紙 2 ページの中に、下記 3 つの設問全てへの回答を含むこと (設問 1 つに対して 2 ページではありません)。
- 全てのページに、氏名、学校名、ページ番号を記載すること。
- ホチキスどめ、クリップどめしないこと。

設問① あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。その体験についてどのように考えていますか。

設問② あなたの人生の中で、最も勇気を必要とした「決意」「決断」はどのようなものでしたか。具体的にどのようなことを決め、行動したのか、その時に思ったことや感じたことを記してください。

設問③ あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラースHIP・プログラムはどのように役立つと考えますか。

下記の書類の全てを、締切 (2022 年 11 月 2 日 (水) 渋谷郵便局留め必着) までに所定の方法で提出すること。

- 1 応募用紙
- 2 課題作文
- 3 学校長からの推薦状

※提出頂いた情報は、ジャパン未来スカラースHIP・プログラム 2023 の選考に使用される他、一般財団法人教育支援グローバル基金から、財団のプログラムに関するご案内、財団の趣旨に合致すると考えられる各種プログラムのご案内のために使用され、それ以外の目的での利用は致しません。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023
学校長推薦書

(学校長により記入・厳封されたものを、志願者が応募書類と共に提出のこと)

学校名	
志願者氏名	

※学校長の方へのお願い

必ず、志願者が記入した応募用紙の内容をご確認の上、本推薦書をご記入ください。

上記の者がビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023 応募にあたり記入した応募用紙の内容は、学校が把握する限りにおいて正確なものであることを確認し、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2023 に推薦します。

日付

住所

電話番号

学校長名

印

特記事項がある場合は、こちらにご記入ください（特にない場合は不要です）。本プログラムは、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ若者を対象とし、奨学金給付や人材育成事業を運営しています。選考にあたり、当財団が志願者について知るべき背景や資質がある場合には、下記に具体的に記入してください。紙面が足りない場合は、裏面又は別添として記載してください。

本状は必ず学校長が記入・厳封した上で、志願者に渡してください。